

皆さんが安心して暮らせるように／

# 水害に強いまちづくりに取り組んでいます

地球温暖化により、今後も発生する可能性がある大型台風やゲリラ豪雨などの水害への備えが重要です。

本市では、市民の皆さんが安全・安心に暮らせるよう、「総合治水・雨水対策推進計画」(\*)に基づき、治水・雨水対策を強化し、水害に強いまちづくりを進めています。

問 河川課 ☎(632) 2686

※ 計画期間は、令和3年度～令和12年度の10年間。

流す

## 河川の改修・下水道の整備

河川の改修や下水道の整備を行い、雨水を安全に流します。



流す

強化!

## 調節池整備

洪水を一時的に貯留して、河川の流量を低減します。

貯める

## 透水性舗装・浸透ます設置

市道などで雨水を地下に浸透させ、流出を抑制します。



市内全小中学校に  
雨水貯留タンク設置!



学校

貯める

官民協働



## 雨水貯留・浸透施設設置費補助金制度

ID 1002659

敷地内の雨水を貯留・浸透させ、流出抑制を図ります。市街化区域の一般住宅などへの雨水貯留タンクなどの設置費を補助する制度があります。詳しくは、7ページをご覧ください。



備える

強化!

## ハザードマップやマイ・タイムラインの周知徹底

ID 1035864 ID 1027736

市☎への掲載や出前講座の開催により、防災意識を高めます。

貯める

## 校庭貯留や市有施設への雨水貯留タンク設置

学校の校庭などを活用した雨水の貯留を行い、流出抑制を図っています。

市役所

水害に強いまちづくりを

本市では、「総合治水・雨水対策推進計画」に基づき、「流す」「貯める」「備える」の取り組みを3つの柱として、水害に強いまちづくりに取り組んでいます（上のイラスト参照）。

また、令和7年度に「総合治水・雨水対策推進計画」の見直しを行います。

さらに、公共施設における雨水貯留施設の整備を進めるとともに、新たに奈坪川や新川の調節池の整備に着手するなど、スピード感を持って、治水・雨水対策を推進しています。

▼「流す」取り組み 河川や下水道の整備を計画的に行います。河川のしゅんせつ工事を行うなど、浸水被害の軽減に取り組めます。

▼「貯める」取り組み 道路における浸透ますの増設などにより、浸水被害の軽減に取り組めます。

▼「備える」取り組み 災害時の適切で迅速な避難行動を促進するため、宇都宮市防災ハザードマップの使い方やマイ・タイムラインの作り方に関する出前講座、地区別説明会を実施しています（8ページ参照）。

## 推進計画の達成状況と目標値

「流す」	整備率		
	令和5年度	令和6年度	令和12年度
河川	64.7%	65.6%	70.0%
下水道	55.8%	56.0%	62.0%

「貯める」	貯留量		
	令和5年度	令和6年度	令和12年度
田んぼダムなど	約276万 <sup>3</sup> m	約276万 <sup>3</sup> m	約239万 <sup>3</sup> m

＼県と連携して実現！／

長時間降雨  
(6時間で213.6mmの降雨)でも

田川では令和7年度  
**床上浸水ゼロを目指す!**

姿川では令和12年度  
**床上・床下浸水ゼロを目指す!**

短時間降雨  
(1時間で47.2mmの降雨)でも

市管理河川では令和  
12年度

**床上浸水ゼロを目指す!**

### 貯める 雨と上手に暮らそう みんなで取り組む大雨対策

☎1002659 ☎工事受付センター ☎(633)3164

市街地の浸水被害の軽減や河川への雨水流出を抑制するためには、市街地全体で雨水の貯留・浸透能力を高めていく必要があります。

本市では、市街化区域（一部対象外の地区あり）で雨水貯留タンクや雨水浸透ますなどの設置に掛かる費用を補助しています。浸水被害の軽減のためにも、設置にご協力ください。

▼対象 市街化区域に土地または建物を所有、占有している人。ただし、一部対象外の地区あり。

▼補助額 設置費用の3分の2（上限額は下表の通り）。

▼その他 利用には条件があります。詳しくは、工事受付センターへお問い合わせください。

#### 雨水貯留施設・浸透施設の補助内容

対象施設	上限額など
1 雨水貯留タンク	1基当たり最大4～8万円（容量による） ただし、建物1棟につき2基まで
2 雨水浸透ます	1基当たり最大3万円 ただし、土地または建物1棟につき6基まで
3 雨水浸透トレンチ	1m当たり最大1万円 ただし、土地または建物1棟につき24mまで
4 浄化槽転用槽	1基当たり最大6万円 ただし、建物1棟につき1基まで
5 透水性アスファルト舗装	10㎡以上で1㎡当たり900円 ただし、一宅地または一体利用している土地につき300㎡まで

### 貯める 貯留量を確保!

#### 田んぼダムの普及促進

農地所有者や耕作者の協力の下、水田に雨水を一時貯留し、河川への流出抑制を図ります。

☎農業企画課 ☎(632)2474



### 流す

#### 構造物の維持管理

河川や下水道などの構造物の予防保全型修繕を行い、長寿命化を図っています。



### 備える

#### 河川監視の強化

河川に監視カメラや水位計を設置し、監視体制を強化します。

河川監視カメラ・水位情報は下記QRコードで確認できます。



▲国土交通省  
「川の防災情報」



▲危機管理型水位計運用協議会  
「川の水位情報」

### 流す

#### 河川や調節池(調整池)のしゅんせつ

河川などにたまった土砂や流木を取り除き、河川の安全度を向上させます。



### 強化!

#### 公園への雨水貯留

敷地内で雨水の貯留を行い、流出抑制を図ります。



### 浸水ハザードエリアに立地する生活利便施設の浸水対策への助成制度

☎1014162

☎NCC推進課 ☎(632)2563

都市機能誘導区域などの浸水ハザードエリアに立地する医療・福祉・商業などの生活利便施設の浸水対策への助成を行います。

### 住宅などを新築する場合の浸水対策

☎1040444

☎建築指導課 ☎(632)2575

浸水のおそれがあるエリア（浸水想定区域）で住宅などを新築・改装する場合は、浸水の可能性を考慮した建て方を工夫することなどにより、浸水リスクを低減することができます。

水害から自分自身や大切な家族を守るため

# ハザードマップを確認し、「マイ・タイムライン」を作しましょう



5月は水防月間です。  
これからの季節は、雨が降りやすいため、いざという時に適切で迅速な避難行動がとれるよう、「宇都宮市防災ハザードマップ」

「宇都宮市防災ハザードマップ」を活用して、事前に避難場所や避難経路などを確認し、「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

## 宇都宮市防災ハザードマップ

「洪水」・「内水」・「土砂災害」・「ため池」の災害リスク情報や、事前の備えなどの防災情報に関する「わが家の防災マニュアル」を統合した「宇都宮市防災ハザードマップ」を活用し、事前に準備をしましょう。

令和6年  
全戸配布



ID 1035864



▲市庁「宇都宮市防災ハザードマップ(電子書籍)」



▲WEB版ハザードマップ

## マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」とは、洪水や土砂災害などに備えて「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列的に整理した、一人ひとり(または家族単位)の「防災行動計画」となるものです。作成しておくことで、危険な状況になる前に、慌てずに余裕をもって安全に避難するための行動をとることができます。



ID 1027736



▲市庁「風水害から命を守るマイ・タイムラインをつくらう」

### トピック TOPIC

#### 出前講座を実施しています ID 1002831

自治会やサークル・企業などの団体を対象に防災出前講座を開催しています。

▼申込方法 「宇都宮市の防災」・「マイ・タイムラインで避難の作戦づくり」のいずれかの講座を選び、電話で、危機管理課 ☎(632) 2052へ。

#### 地区別説明会を実施しています ID 1040785

市内39地区の連合自治会や地区防災会を対象に「宇都宮市防災ハザードマップの使い方」の説明会を開催しています。

▼申込方法 電話で、河川課 ☎(632) 2689へ。

## 第73回利根川水系連合・総合水防演習を開催します

利根川水系連合・総合水防演習は、地域住民の水防に対するさらなる理解向上を目的に、毎年利根川水系各地で実施しています。当日は、陸上自衛隊などによるヘリコプターやボートを使った大規模な救出活動訓練の他、キッチンカーやスタンプラリー、炊き出し訓練で作ったカレーの無料配布などを実施します。楽しみながら水防への意識を高めましょう。

▼日時 5月17日(土)午前8時30分～午後0時30分。

雨天決行。

▼会場 道場宿緑地(道場宿町)。

▼その他 当日は、ライトラインの清原地区市民センター前停留場、JR宇都宮駅東口から無料シャトルバスを随時運行します。詳しくは、下館河川事務所 ☎(632) 2689へお問い合わせください。



▲下館河川事務所 ☎(632) 2689